

福井



〒684-0404
海士町大字福井412
TEL 08514-2-0750
FAX 08514-2-0790

「思いやりのある」福井っ子をめざして 校長 谷口 彰

いつもより少し早い二学期がスタートして、早十月半ばを迎えました。お陰様で、島の音楽会へ向けて子ども達は毎日一生懸命練習に励んでいます。保護者や地域の皆様には、いつも温かいご支援を頂き大きな支えとさせていた

【目標と課題】

さて、始業式に二学期の重点目標として、本校の三つのめざす子ども像の中の「思いやりのある子」について頑張るよう子ども達に伝えました。それは、一学期の教育活動の反省の際、子ども同士の間関係の中で、相手の気持ちを考えない心ない言動が見られることが指摘されたからです。残念なことに、二学期が始まってから、思いやりに欠けるいくつかの言動が見られました。勿論すぐに、初期的な対応や指導は行いましたが、子ども達の意識の中にやや根深い背景がありそうだと感じています。

【背景について】

その背景について具体的に述べますと、①能力の優劣により、人間関係の序列の傾向がありそうであること。②人間としての価値が、勉強や運動面の能力に偏る傾向があること。③一人ひとりの違いを個性としてではなく、異質なものとして見る傾向があること。これらをもとに、友達の心を傷つける言葉や行動が見られます。放っておくと継続しないじめにつながりかねないケースもありました。

【学校として】

このような問題に素早く対応し、まずは子ども達が同じ誤りを繰り返さないことに配慮しながら、実態をより正確に把握した上で、やや長期的なビジョンを持って、組織的に「人権教育」を進めていくことを考えています。子ども達は一人ひとりがそれぞれの状況の中で、様々な個性を持ってこの世に生まれてきました。その一人ひとりが自分の可能性を最大限に伸ばし、より豊かに暮らしていく権利を持っています。そのことがお互いに保障されないと学校教育は成り立たないと考えます。

【まず大人が振り返る】

子どもは大人の鏡であると言われます。本校の子ども達は純粋な心を持ち大人に対して素直に従うよさがあります。少なからず大人の価値観や日々の言動が影響しているのではないのでしょうか。保護者や地域の方々も私達と一緒に振り返って頂き、ご指摘いただいたり、正すべきことを正していただけたら大変心強く思います。学校・家庭・地域が一緒に子どもを見つめ、支えていきたいものです。

福井っ子大健闘！

第六十二回島前陸上競技大会

9月23日(日)に第62回島前陸上競技大会が海士中学校校庭で実施されました。夏休み後半から始まった練習では、「苦しいとき、仲間が頑張っているときに声を出し、最後まであきらめないこと」、「切り替えを早くし、メリハリのある行動をすること」をチームの目標にし、6年生を中心に取り組んできました。

大会本番も子どもたち一人ひとりがめあてを意識し、福井っ子らしい一生懸命な姿を見ることができました。また、1・2年生の元気な応援も選手達の頑張りを後押ししてくれました。その結果、個人種目の優勝だけでなく、4×100mのリレーでもすばらしい成績を収めることができました。まさに、福井っ子全員の力で掴み取った結果です。

嬉しい想いをした子、そして悔しい想いをした子もいましたが、それぞれの児童が練習の成果を発揮することができたと思います。この陸上大会で学んだことを学校生活に活かしていけるよう、指導していきたいと思えます。当日は保護者の皆様、そして地域の皆様の応援も大きな力となりました。心より感謝したいと思います。本当にありがとうございます。

(体育主任 藤原良平 記)

※裏面に主な記録を掲載しています。



♪と～っても楽しかったよ♪

隠岐特別支援学級合同宿泊学習

9月13日から14日の一泊二日、都万アイランドパークで宿泊学習が行われました。福井小学校からは、ハーモニイ学級の島垣拓海君が参加しました。出発の日が毎日毎日とても待ち遠しそうでした。この学習に向けて、島前の仲間と合同学習会を開き、カレー作りや夜の集いの歌や踊りの練習を入念に行っていました。

さあ、いよいよ当日です。宿泊学習では、カレー作りや野外でのゲームなどいろいろな活動が行われました。拓海君はその中でもカレー作りを一番楽しみにしていました。野菜の皮むきやサラダの盛り付けなど、どの活動にも進んで参加していました。その様子に、他の学校の先生方からも、「拓海君はよく働いてえらいね」とほめてもらっていました。

本来は中学生担当のカレーを混ぜる仕事、拓海君はそれをじっと見つめ、「やってみる？」と水を向けられると、意気揚々一生懸命取り組み、「来年は任せたいよ」と力強い言葉をかけてもらいました。カレーもおいしく出来上がり、みんな満足顔です。とてもおいしくいただきました。すっかりカレー作り

に自信をつけた拓海君は、「もう少し辛い方がいいです。」と言っていたのが印象的でした。この宿泊学習で、下級生の子や、中学生のお兄さんやお姉さんなどいろいろな人とかかわり合い、普段一人でする学習することの多い拓海君にとって、とても有意義で大きな成長を感じた二日間となりました。「来年も行きたいです」と、本人も今からやる気満々になっていました。

(担任 内田祐貴 記)



美味しそうにカレーをほおぼる拓海君

熱戦奮戦 地域の絆深めて

福井校区区体育大会

「支援、ご協力ありがとうございました！」
 10月7日の前夜は雷を伴う土砂降り、多くの方々（明日は無理だわなあ）と感じられたことでしょうか。一夜明け、すっかり雨は上がり、校庭の驚異的な水はけの良さ、また日頃皆さんの「行いの良さ」のおかげで、無事開催にこぎつけました。福井校区が一つになった思い出の体育大会を振り返ります。

小学生の種目

各学年部とも、学年らしさを示して、終始笑顔で和やかに競技に臨みました。



一般の方々の種目

どの種目も迫力満点でしたが、とりわけ圧巻だったのは騎馬戦です。スポーツチャンバラで使用するような棒で他チームのヘルメットに付いた紙風船を割るか落とせばよいわけですが、



特に感心したのは高学年福リンピックでの一コマです。フェンシングの的に向かって横一線に揃って独特のステップを踏むパフォーマンスを見せられてくれました。一生懸命競技することはもちろん大事ですが、さらに「見せる」「楽しませる」といった高次元の世界を演出している、思わず「この子たち、やるなあ」と唸ってしまいました。

「けいしよ保育園児の鼓笛」よく鍛えられているなあ、とつくづく感心しました。ドラムがしっかりとリズムを刻み、凛とした颯爽たる演奏に、会場から惜しみない拍手が送られました。



小学校親子種目

1、3年生は毎年恒例のデカパンレースでした。



闘争本能むき出しで、鮮やかに一本を取る方、虎視眈々と相手の隙をうかがう方、それぞれ騎馬それぞれで作戦を駆使して闘う男たちの姿に感動しました。

「おんぶ」するとうるさく、また「だっこ」するとうるさく、得点に關係ない分もあって、ユーモア溢れる各ペアのパフォーマンスに、会場は大変盛り上がりしました。小柄で華奢な愛華さんがお母様をおんぶしている姿には、皆目を見張りました。お母様もさぞ娘さんの成長を感じられたでしょう。



「アイディア賞」上方地区、中村勇士、15秒2

「ハッスル賞」菱浦地区、福井小A、1分00秒2

「チームワーク賞」西・福井地区、宇野隆斗、1分10秒

「ユーモア賞」中里地区、澤井虎伯、3分17秒6

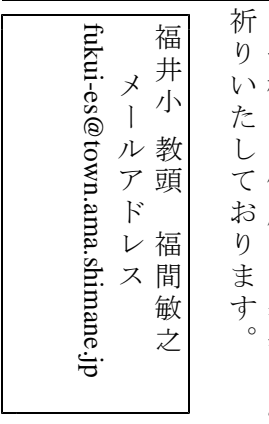
「アイディア賞」上方地区、中村勇士、15秒2

各地区趣向を凝らした心援合戦。そのものズバリ画像で紹介しします。



種目	順位	選手名	記録
男子 5年100M	第1位	小田川龍清	15秒3
男子 5年100M	第2位	小田川龍清	3分30秒1
男子 5年100M	第3位	万代	3分40秒6
男子 5年走り幅跳び	第1位	万代	3m82cm
男子 5年走り幅跳び	第2位	小田川龍清	3m45cm
男子 6年100M	第1位	中村勇士	15秒2
男子 6年100M	第2位	堂下航生	15秒3
男子 6年走り幅跳び	第1位	堂下航生	4m22cm
男子 6年1000M	第3位	中村勇士	3分28秒5
男子 高学年400Mリレー	第1位	福井小A	1分00秒2
男子 高学年400Mリレー	第2位	宇野 中村 磯谷 堂下	
男子 高学年400Mリレー	第3位	福井小B	1分03秒4
男子 高学年400Mリレー	第4位	亀谷 小田川龍片松 小田川天	
男子 中学年400Mリレー	第2位	福井小	1分11秒3
男子 中学年400Mリレー	第3位	井手上 永原 真野 磯谷	
男子 全学年走り高跳び	第1位	小田川天馬	1m19cm
男子 全学年走り高跳び	第2位	宇野隆斗	1m10cm
男子 3年800M	第2位	澤井虎伯	3分17秒6
男子 3年800M	第3位	島垣龍喜	3分25秒1
男子 3年600M	第1位	梅野凜香	2分29秒5

種目	順位	選手名	記録
男子 同	第3位	花岡知世	2分35秒2
男子 3年100M	第3位	梅野凜香	18秒8
男子 4年600M	第1位	永海知夏	2分12秒1
男子 4年100M	第2位	永海知夏	17秒7
男子 同	第3位	澤井かのか	18秒1
男子 5年100M	第1位	井手上暖乃	15秒8
男子 同	第3位	福井美波	16秒7
男子 5年走り幅跳び	第1位	井手上暖乃	3m61cm
男子 5年走り幅跳び	第2位	井手上暖乃	2分54秒5
男子 6年100M	第1位	本多かすみ	15秒2
男子 6年走り幅跳び	第1位	本多かすみ	3m62cm
男子 高学年400Mリレー	第1位	福井小A	1分03秒7
男子 高学年400Mリレー	第2位	福井小A	1分11秒6
男子 高学年400Mリレー	第3位	片松 永海 岡本 澤井	



「午後からはとっても力強い、なくてはならない味方が現れました。感謝！」

「アイディア賞」上方地区、中村勇士、15秒2

「ハッスル賞」菱浦地区、福井小A、1分00秒2

「チームワーク賞」西・福井地区、宇野隆斗、1分10秒

「ユーモア賞」中里地区、澤井虎伯、3分17秒6

「アイディア賞」上方地区、中村勇士、15秒2

「アイディア賞」上方地区、中村勇士、15秒2

「アイディア賞」上方地区、中村勇士、15秒2

編集後記
 長かった今夏の猛暑もどこへやら、季節は秋真っ盛り。私の教員住宅では連夜秋の虫たちが競演中です。
 十月半ばとなり、こまごま子どもたちは日々の活動に本心に一生懸命取り組んでいて感心しています。大きな行事の際に、そういう不調の努力の積み重ねが大きく開花するものだと実感しています。
 そんな中、久々に嬉しいニュースが飛び込んできました。山中大教授ノーベル医学賞受賞の報です。IPS細胞開発は無数の可能性を秘めています。難病治療をはじめとして、今後様々な分野で応用されることでしょう。
 とここでこの山中先生、筆者と同年代です。エピソードによれば、整形外科医として「ダメ医者」で「邪魔中君」と呼ばれていたとか。にわかには信じがたい話ですが、自分の得手をどう社会に役立てていくかは、やはり人との出会いにかかっているようです。どんな人にもチャンスがある、そういう出会いを大切にしながら日々奮闘していくことが私たちの使命です。
 前号同様、校報や福井小学校に対するご意見やご要望もお待ちしております。特に校区体育大会について、ご感想があれば是非お寄せください。皆様の健康とご多幸をお祈りいたしております。
 福井小 教頭 福岡敏之
 メールアドレス fukui-es@town.ama.shimane.jp